

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成31年 3月 29日

仕事の内容	ケアラー支援事業		
担当部署・課長名	高齢介護	課 地域包括ケア推進	係 課長名 伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 2	-
【施策名】 高齢者保健福祉の推進	総合計画書(ページ)	51	

予算名	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 3 老人福祉費	事業 4 高齢者日常生活支援事業費
-----	---------	-----------	-----------	-------------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ケアラー(介護を要する者の介護を無償でしている者)及び介護を要する認知症の者、高齢者等	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 東大和市人口
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ・孤立を防ぎ、その悩みや不安が軽減されている ・必要とされる支援につながっている ・認知症や介護に関する情報を得ることができている	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ・こころの相談利用者数(利用者30名、相談延件数34名) ・ケアラースカフェ利用者数(参加者数102名) ・講演会等参加者数(参加者数66名)
	③ そのために何をしましたか。 ①こころの相談(介護に対する気持ちの整理方法、認知症への不安や悩み等の相談を予約制で実施) ②ケアラースカフェ(それぞれの不安や悩みを話し合うと共に、認知症・介護に関するミニ講座を楽しむことができる交流の場) ③講演会等(認知症の症状や介護一般に関する情報を提供する講演会等を実施)	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①事業実施時間内に常時受付 ②13回(月1回及び臨時開催1回) ③2回

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337		
	成果指標	②の数値	人	90	194	202		
	目 標	②の目標値		100	250	265	265	265
		目標値設定の考え方 相談年間実利用者数20名、カフェ1回あたり参加者数15名(平成29年度から講演会等1回あたりの参加数25名を追加)						
活動指標	③の数値	回	①常時受付 ②6回	①常時受付 ②12回 ③2回	①常時受付 ②13回 ③2回			

3 経費	事業費(実績)		円	2,311,800	4,494,000	4,494,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	0	0	0	
		特定財源	円	2,311,800	4,494,000	4,494,000	
	(うち受益者負担)		円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
事業費+人件費		円	3,551,850	6,969,900	6,967,200		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大い

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成28年10月から、ケアラー及び介護を要する者の住み慣れた地域での生活を支援し、福祉の増進を図ることを目的としている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 特になし。

仕 事 の 内 容	ケアラー支援事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	地域包括ケア推進	係	課長名	伊野宮 崇

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアラーズカフェ参加者から、カフェで介護の悩みを共有することで良かったという意見があった。 ・事業において連携することがある市内の介護者支援の会から、より連携が図れるよう会の活動周知に協力してほしい旨の話があった。 					
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容					
	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き事業周知が課題。市民への直接の周知作業が少ない状態にある。 ・ケアラーズカフェの開催曜日と開催場所は一つに決まっているため、参加しづらい方もいる可能性がある。 					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への周知活動として、どのような手法があるか改めて検討を行った。 ・開催曜日を月曜日、開催場所を市内有料老人ホームと変えて、ケアラーズカフェを臨時開催した。 					
8 今 後 の 方 向 性	(3)(2)を踏まえた今後の課題					
	<ul style="list-style-type: none"> ・検討に基づいた市民への周知活動を行う。 ・ケアラーズカフェの開催曜日が平日であることから、働いているケアラーが参加しづらい可能性がある。 					
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）					
	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定結果通知に、ケアラー支援事業を案内するリーフレットを同封し、事業周知に努める。 ・ケアラーズカフェが土・日曜日開催ができるか検討する。 					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
<ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定結果通知に同封するための課内調整が必要である。 ・は～とふる以外の会場で土日開催が可能な場所があるか、確認・調整が必要。 						
(3)改革・改善案による期待成果						
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。						
成果	成果を向上させる。				経費	仕事の経費は維持する。